

令和5年3月10日

意見発表

亀井委員

公明党神奈川県議団を代表しまして、本委員会に付託をされました諸議案等について意見、要望を申し述べます。

まずは、在日米軍基地におけるPFOS等の安全管理についてです。横須賀基地でのPFOS等流出については、早期の原因究明に努めるとともに、抜本的な対策が取られるまでの間、粒状活性炭フィルターによる浄化を継続し、引き続き効果を検証していくことが重要であると思います。日米両国政府に対しては、引き続き必要な働きかけを行っていただくよう要望します。

また今回、横須賀基地において、PFOS等流出の原因究明が難しい中で、排水処理施設からの排水を粒状活性炭フィルターで浄化し、PFOS等の濃度を暫定目標値50ナノグラムパーリットル以下に低減できたことは、一つの成果であると思います。

現在、PFOS等は米軍基地に限らず、我が国全体の課題となっていることから、今回の横須賀基地での対応は、今後に向けた重要な先例となると思います。関係機関等と情報共有していただくよう要望いたします。

次に、インボイス制度についてです。インボイス制度は、軽減税率が導入され、10%と8%の複数税率となった中であっては、適正な課税を行うために必要な制度であると認識をしています。しかし、制度の円滑な導入のためには、事業者の方にインボイス制度の仕組みや必要な手続について、しっかりと理解していただくことが不可欠であります。消費税率10%のうち、2.2%は地方の貴重な財源となっていることを踏まえ、県においては、今後も制度の周知、広報に取り組んでいただくよう要望いたします。

次に、ESG債についてです。グリーンボンドが好調であるということは理解をいたしましたので、グリーンボンドを継続して活用するとともに、今後は県内の投資家など、新たな投資家層の拡大につながるソーシャルボンドの発行をすることもメリットが十分にあると考えますので、本県における発行について、しっかりと検討していただくよう要望いたします。

以上、意見、要望を申し上げ、本委員会で付託をされました諸議案等について賛成を表明して、意見発表といたします。